
夢と希望と落書きと

天音 雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢と希望と落書きと

【Nコード】

N0151T

【作者名】

天音 雪

【あらすじ】

高校生

大人の一步手前

青春

恋に部活に勉強に

誰もが有意義に過ごしたいと夢を見て、努力する

中学までとはどこか違う。特に、異性に対する意識というものが大

大きく変化する。

故に、自己の存在をアピールするために服装や髪形などを弄る者が出てくる。

俗に言う

高校デビュー

である。

新入生にとって、新たに始まる高校生活に胸を高鳴らせるものもあるだろうが、中高一貫となるとそうもいかず、ただただ中学4年生のような雰囲気は学年中に蔓延する。

これは、そんな中で的高校生活を送る、一人の高校生の物語である。

ちよくちよく暇つぶしに描いた落書きも載せていきます

青春なんて幻想だ（前書き）

作者の天音です

作者を主人公にした学校生活にちょっとフィクションを加えたゆるゆる系で行こうと思います

実際に起こったことが元なので最低週1ぐらいで更新できると思います

ちなみに主人公は作者の本名ではありません

青春なんて幻想だ

4月8日

「ああ、眠い……」

おはよう

本作の主人公

チャミこと小出水だ

どうもチャミとはチャーミング小出水の略らしい
俺のどこがチャーミングなんだ？

ともあれ、中学から引き続いてK電で通学している
今日から高校生な訳だが、俺は全くやる気が出ない。言うまでもない
朝が早いのだ

午前6時20分

何たることか

入学式ぐらいゆっくりでいいじゃねーか
とかブツブツぼやいているが、そうもいかないらしいのが中高一貫
校というものだ。

新中学1年生の入学式が10時40分から、ということまでそれまで
に上級生は始業式やらクラス委員の選出が行われる。

まあ、俺達はすでに前日のオリエンテーションでそんなものは決ま
っているのだが……

他学年はそうもいかない

おっと

次の駅で友人が乗ってくる

「オーツス」

軽く手を上げて挨拶を交わす

つり上がった目と、茶色がかつた髪、ガムを噛んで、学ランのホックを開け、耳にはあつぷるのiPodからつないだイヤホンが垂れて、どこか不良っぽい雰囲気を持ったコイツ

倉田だ

俺自身、SONYの歩行者ウォークマンで音楽を聴いているためそれほどガラが良いとは思えない。制服である紺色の学ランも中学から3年間ずっと着ていたものであるため、薄汚い感は否めないのだ。

倉田とも1年の途中からほとんど毎日顔を突き合わせているため、挨拶を交わした後、一言も話していない。ただ電車に揺られながら音楽に耳を傾けた。

途中で電車を乗り換え、座席に座った。

長い間同じ電車に乗り続けると、自然と特等席が出来てくる。俺達は前から2両目進行方向右側のドアの横に座った。

無論、デジタル音楽プレイヤーの持ち込みは校則で禁止されているため、駅が近づくとカバンの中にそれをしまった。

降りた駅からは長い坂道、くだらない雑談をしながら教室に向かっ

た。

教室には知ってる顔がちらほら。中には髪の毛を染めてる奴も・・・
先生に連れていかれた

そっだよ。うちの学校、髪の毛染めるの禁止だもん(〃〃)

担任も中1ン時と同じN野だ

生徒のことを名前と呼んだり、どこか気持ち悪い雰囲気からオネエ系だと認識されている。もちろん俺はこいつがはつきりと嫌いだ。

まあでも

何とかなるだろ・・・って

エエツ(。。(

宿題かよ

頼むからやめてくれ

春休みの課題も終わってない俺は絶望した。

青春なんて幻想だ（後書き）

この小説を書き始めたきっかけは、古典で習っている土佐日記が原因です

むろん

紀貫之のように、ネカマ、自演乙的な展開はありません

小出水ノチャミ

小出水遊

16歳の高校1年生

運動神経は比較的良い方だともうが、本人にやる気はない

勉強も嫌い

好きなものは甘いもの

嫌いなものは勇気・友情・努力・中国・韓国・・・etc

身長 171cm

体重 55kg（5月1日現在）

視力は両目共にD

普段は眼鏡をかけていない

見えないために、目を細めている。というかガン飛ばしてるようにしか見えないらしい

基本的に何事にも無気力。人の足を引つ張ることを嫌う

髪は黒で眉耳にかかるくらい

基本的にはツツコミ役だが、周りがまともだとボケに回る

目標は学校をシメて頂点を獲ること（嘘）

平凡よりも刺激を求める

どちらかというと劣等生

無駄知識が多く、喋り出すと止まらなかつたり・・・

ああ、俺って初心なのね（前書き）

エンカウント率が上昇します

取りあえず

適当に日数飛ばしたりするんでよろしくお願いします

ああ、俺って初心なのね

4月11日

おはよう

小出水だ

週6日制のため、疲れが全然取れていない。

それもそのはず

日曜日はテニスやってるんだ

しかも3時間

去年の夏休みが終わった頃、部活はやめたのだがテニスクールは受講料を払っているため辞めるわけにもいかないのだ

本当は座って寝たいところだが、K電もこの時間帯は通勤客でそれなりに人が乗っているし、急行ということになれば言わずもがなである

>まもなく池上へ池上ですく

ふいに車内のアナウンスが耳に入った。池上は地下鉄乗り換えの客でかなりの人数が降りるドアの真ん前に居た俺は脇に避けるすると、ブレザーを着たJKがめっちゃこつちを見る。

はは

まさか

ないよな

俺が

うん

気のせいだ(〃 〃 ;)

「ねえ」

ええー！ー！ー！！

俺かよ！！！！

「小出水やんな？」

うん

あれ、なんでコイツ俺の名前知ってるの？
って

よう見たら何か見覚えのある顔やん

「うちのコト覚えてる？」

ほら

やっぱり

同小の友達じゃん。でも、ぶっちゃけメツチャ可愛ええ。()
O!!! ()

「藤原やろ。覚えとるで」

小学校ン時は眼鏡かけてたしクラス一緒になったことあんまりなかつたけど・・・

ヤベエ

マジで可愛なってるやん

「いつもこの電車なん？」

「いや、この電車かもう一本早いの」

「そうなんや、で、もう降りな知らんで」

「ほんまや、じゃあね」

俺・・・

わが生涯に一片の悔いなし

昔の同級生が眼鏡外したら可愛いなんて漫画だけやろ
って思ってたけど

でも

背エ低かったなあ（＝　＝；）

なんかドキドキしたまま、電車に揺られてたら終点みたいだ。普段
なら普通に乗り換えるのだが・・・
40分近く立ち続けるのは学生にとってもそれなりに疲れるのだ
それに倉田も乗ってくるし・・・

「おはよう」

ふいに後ろから、おっさんに挨拶された
振り返ると・・・

ヤベエ

前校長・・・

なんで？

What?

Why?

アブネー

イヤホン外してたからセーフだけどさ

「オ、オハヨウゴザイマスウー」

片言で返す俺

どうしよう

心臓に悪いよ

今日

「というわけで今に至るワケだ」

「いや、分からんし」

見事なツッコミありがとう。倉田君
ご苦労だった

「いやあ、焦るわ。だって校長やで？前の」

「ああ、浜口な」

「そう、え？浜口やつけ？まあいいわ」

まだ若干動揺気味の俺

俺の気持ちも露知らず、ガムを噛んでる倉田

コイツ

マジでガラ悪いなとも思いながら、俺もガムをもらう

いつもの座席に座ろうと、電車に一步

後輩ガキがすわつとる（＝　＝　）イラッ

まあええか

と思いつつ、向かいに座って後輩を威嚇

「おお、舐めてる後輩をシメちゃうのか？小出水君。キタの帝王の本領発揮や」

なんやねん

北の帝王って・・・ミ○ミの帝王のパロかなんかだよ

大体学校の近くにヤーさんの本拠地あんのにそんな無茶やったら指詰められるで

「アホか。なんで俺が市内シメなあかんねん。そんなん出来たら苦勞せんわ」

「だってこの前、不良が集ってるところ正面突破したやろ」

そう

俺は普段眼鏡をかけていないため、あまり周りが見えていない

故モブキャラに不良がいるところを堂々と通ったことがあったのだ

それ以降コイツは俺が市内全域を支配しているという意味不明な設定イミフを作り上げた

「いやあ、全国制覇を目論む倉田さんには敵いませんよ（悪乗り）」

「そんなんせーへんし。喧嘩番長じゃあるまいし」

喧嘩番長とはPOPのゲームソフトの一つ
メンチビームや何やらで学校シメて頂^{てっぺん}点獲ったりするゲーム

「あれあれ？倉田さんともあるう御方がそんなこと言っていていいんですか？」

「いえいえ、小出水さんには敵いませんよ」

悪ノリがエスカレートすると、例によって相手をバカにする
というか

敬語で話し合ってる学生って
あやしくね？

ああ、俺って初心なのね（後書き）

本作の登場人物はすべて仮名です

倉田

倉田慶介

15歳の高校1年生

運動神経は微妙

成績は小出水（俺）とほとんど変わらない

好きなモノ、嫌いなものは良く分からない

身長 173cm

体重は知らん

視力は悪いがコンタクトをつけてるらしい

先にも述べたが不良にしか見えないが、本人は自覚していない
別に喧嘩っ早いわけではなく、ガタイが良い方でもない

剣道部所属

決意&17・趣味？ 落書き添付

「俺はアニメを見るのを止める！」

実にくだらないう意志表明です

残念ながら、コレが俺。小出水遊という男なのです

「とは言ってもけいおん！の映画は見るけど」

「へー」

実に冷めた反応です

そりゃそうだ

こんなくだらないう決意、聞いたところでリアクションに困ります

「で、数1の宿題終わったん？」

「終わったぞ、見る、この美しいノートを！(、・・・)」

「答え写したやる？」

流石倉田、痛いところを突いてきます

だがしかし、いつまでもそんなことをしている俺ではないのです！

「いや、一回目答えを写したノートを参考にしながら問題解いた」

そう

俺がやってたのは2回目

まあ、

色々事情があるんすよ

「俺はアニメを見るのを止める！」

はい、二度目の宣言です

「え！マジで！」

今度はなかなかの反応です

「そんなんしたら人生の半分損するで」

どういう理屈なのでしょう？それ言ってしまうえば日本人の多数の人間が損をしていると思います。それに、アニメを見ている人間、特に深夜アニメを見ている人間は「負け犬」もしくは「オタク」というレッテルを貼られるのです。

「アホか、アニメ見てる方が損するわ。時間の無駄遣い」

物凄く冷めてます

でも

『けいおん！』にハマっていたつい昨年。俺は友達に布教活動を行っていました。

3人が感化されてしまったことが現実です。

更に倉田も戦国BASARAにハマってしまいました。

「大体、俺達もうコーコーサーだぜ？アニメ見てるなんて子供だ」

「アニメ見てる奴が子供とは限らないで」

「そのくらいは分かっている。お前らがいるからな。あと、俗に言う大きなおホモだちとかな」

「それ俗に言わない」

「俗に言う大きなお友達とかな。というのは置いていて、そう言う意味の子供じゃない。性格的に子供、いや違うな。子供っぽいということか・・・精神的に成長していない、子どもと大差がないという意味だ」

「アニメは日本の文化やからな、それを否定することになるで」

「別にアニメを否定するわけじゃないし、アニメを見ること自体が子供だとは言わん。けどな、このクラスにもいるようにメアドに○は俺の嫁とか言い出す奴や、たかがアニメのためにバカみたいな金を使うやつが子供だといってるんだよ（以下略）というわけでお前らはまだ子供だということだ」

物凄い語ってますが、適当に納得させるために出任せで言ってるため支離滅裂になっています

数日後・・・

「さっそくアニメ見てしまった・・・。デジモンは俺を子供に変えてしまうんだ　！！！」

小学校に入る前から見てますからね
ちなみにストーリーで一番好きなのはティマーズで、主題歌などが
好きなのはフロンティアです。

ヒトラー？

何となくこんなイメージってのを描いてみた

> i 2 0 2 9 6 — 1 5 0 3 <

決意&It・趣味？ 落書き添付（後書き）

藤原舞衣

15歳の高校1年生

小出水の同小

私立高校に通うため、頭は良い

好きなモノは嵐、AKB他・・・

嫌いなものは知らん

身長は150cmぐらい？

体重はシークレット（幾らデリカシーがない俺でも聞くわけがない

視力は・・・

昔から悪かったな

髪は黒、セミロングっていうの？アレ

中学では吹部

ホルンですな

天然産の天然って感じ

今回は落書き添付

本編になんのカンケーもございません

くーるびず！（前書き）

忘れないうちに書いところと思ってます
休みなれば、割り込み投稿で間も埋めていく予定です

くーるびず！

5月9日

「暑い……………」

「最高気温27度やって」

「知ってる、朝天気予報見たから。にしても…………暑い」

夏と間違えるような暑さの中、制服を脱ぐ俺。

俺の通ってる学校は、授業の間は制服を着ずに校内着なるものを着ることになっている。デザインは言うまでもなくダサイのだが、制服が汗まみれにならないことを考えれば全く苦痛ではない。

5月中は長袖と決めた俺は、袖を肘のところまでまくりあげ、下も膝下まで裾をまくっていた。右手には去年の校外学習で行った奈良で買った、安物の扇子を片手に廊下を歩いていた。

もちろん、このような着方をしていれば教員による注意を受けるのだが、そんなことも気にせずに…………

おっと、前から学年主任兼高1の風紀主任、GTOことゴトーが現れた。

「ちゃんと服着なさい」

聞く耳を持たない俺。

しかし、あとが面倒なので

「クールビズです(…………)キリッ」

とって、退散。

2時間目

「筋肉痛やから跳ばれへん・・・」

「僕もなんか今日調子悪い」

新キャラのペンペンです

ペンペンはペンギンのペンです

小学校からの友達で、バスケット部に所属していますが、ほぼ幽霊部員と化しています

「小出水がダメやったら僕ら、今日絶対負けるやん」

「いやいや、俺らのチームそもそも弱いし」

それもそのハズ、体育の授業はバスケットですが、メンバー全員が帰宅部もしくは幽霊部員。それに高さ（タツパ）もなければ技術もない。最悪のチームです。6人であることがせめてもの救いですが、一番高くて俺の171cm、ペンペンの170cmもう一人（誰か覚えてない）の171cmという有り様・・・

「ところでなんで小出水はドリブルせーへんの？」

「昔からのクセでパスばっかしてまうねん。今ほどドリブルうまな

いから」

「しゃーない、いつも通り走るぞ！」

体育で真面目にやるのとか馬鹿らしいと思うのだが、単位に関わってくる上、負けず嫌いなため、結構本気になってやる。それが俺なのです。

2試合やって、結果は1勝1敗・・・

まあ

頑張ったからいいか

昼休み

「やべえ、英独宿題やってないわ」

「別にやらなくてもいいんちゃう？」

「いやいや、小出水さんは非常にまじめですからきちんと宿題やるのですよww」

と言って、2つ後ろの席に座る俺

「非常に心が痛いですけど、俺のためだから・・・」

秀才の鈴木さんの席においてあるノートをオープン！

うはぁ

キタ！！

「よし、真面目に宿題やるか！」

5分後

「ちゃんとやったぜい！」

「裏切り者お！」

どうやら彼はやっていないようです

無論、授業前に宿題忘れは名乗り出るのが普通なのですが

「心がきれいな奴にしか見えない字で書いてあるから。え？見えへんの？それは心が汚いからやで。俺見えるもん」

なんという言い訳

落書きです

お気に入り小説読んで、思わず書きたくなっちゃいました

> i 2 3 5 9 1 | 1 5 0 3 <

萌えの視点

5月11日

土砂降りの雨の中、憂鬱な授業が始まる。

2時間目は世界史。

俺の好きな教科だ。とは言っても、年代にもよるのだが・・・

「コラ、阿部。何調べとんや」

世界史担当の森野亮士が間の抜けた声で電子辞書を見て笑っている奴らに注意した。

ここまでは普段と同じ光景

が、

予想外なことが起こった

阿部が調べていた単語は

「絶対領域」

言わずと知れた、あの場所である。

念のため説明しておく、絶対領域とはミニスカとニーハイの間の肌が露出した部分を指し、この部分が小さければ『萌え』度が上がる。

「何授業中にこんなもん調べとんや」

森野先生、もとい亮士は若いということもあり、生徒から亮士、もしくは亮士さんと呼ばれている。

亮士はノリのいい先生だが、キチンとするところはしているため授業が荒れることはない。俺自身キレたところを見たのは一度だけだ。

「確かにな、俺も好きやけどな」

「アハハハハハハハ、何その無駄なカミングアウト!!」

「授業中にやることやないやろ。別のクラスでもあったねんけどな、皆ジャイコって知ってる？」

「知ってる」「ジャイアント黒板消しのことやろ」

「なんや皆しつとんか。中々ネーミングセンスいいと思わへんか」

「思わへん思わへん」

何の授業だコレ？

「他にも猫耳とか調べとるやつ居ってんけどな、あの絵はヒドイやろ」

マジでこの人何言ってるんだ？

パレスチナどこ行った？

昼休み

「俺は絶対アマゾンやと思っ…!!」

「いやV3やっ…!!」

なんということまで張り合っているのでしょうか

時は平成

ライダーはオーズ

だがしかし！

俺達は懐かしライダーの話で盛り上がっています。人数は俺含め6人

「アマゾンのあの気持ち悪さが良いんだろーが！！なにがV3だ、風力発電の電力供給量なんてたかが知れてるやる！」

「アホか、そのために2つついてるんだろーが、大体アマゾンなんてただの野生児じゃねーか！」

ヒートアップする議論

しかし、実際にストーリーを見ていないため、ネタ切れも時間の問題です。

「黙れ、アマゾンの良さはそこだろ。変身しなくとも十分な格闘能力を持ち合わせてるライダーはアマゾンだけだろ。V3なんてただの雑魚じゃねーか。あんなのよりG3の方がましだ」

G3

みなさんはご存知でしょうか？

平成ライダー2作目、仮面ライダーアギトに出てきた全身装甲の駆フルスキン動鎧バグのようなものです。

作者自身、アギトはほぼ全話を見たために要潤と賀集利樹は結構好きな俳優なんです。

ここでチャイムが鳴ってしまい、議論は終了……かと思われましたが、担任でかつ現国教師のN野が

「遊、私はアマゾンよりスカイライダーが好きやな」

知らねーよ!!

俺はいつでも全力全壊

5月13日

「学校遅く始まんのはええけど、講演会とかいらんし」

本日はひたすら健康診断を行うのです

俺は貧血で目眩したり、花粉症で目がかゆくなったり以外はいたって健康な青少年です（え？

「おっす、トヨ〜」

「どうした？変態。いちいち他の教室に来るなんて友達がないのか？」

「うわあ〜、何か来たあ〜」

トヨ、それはないやろww
確かに
何か

であることは間違いないけど

「2人ともひどいな」

「どこがや、言ってみろ」

「う〜ん・・・全部？」

「ヨ〜シ、変態。ちょっと俺とO H A N A S H I Iしようかあ」

がっちり肩をホールドして、肩の骨と鎖骨の下に親指を食いこませると……

「アイダダダダダダダダ」

「もっぺん言ってみ？俺の、ど・こ・がヒドイのかな？」

「すみせん、すみせん」

「相変わらず小出水は無茶苦茶やなあ」

「ぼぶら、それはサイコーの褒め言葉やで」

ぼぶらは俺と同じでクルトガ同盟

pixivで絵を乗せては学校で話してます

「で、アイツは何しに来たんだろ？」

「さあ？変態のことだからイジメられに来たんじゃねーの」

「ところで、講演って何時間ぐらいなん？」

ぼぶらが話を転換

ごくごく普通の日常会話が始まります

「2時間ぐらいやろ、前の黒板にプリント貼ってあるやん」

「え〜ダルいわ」

「ところでさあ〜」

変態復活!!

「帰れよ」

間髪いれずに俺は変態に立ち退き要求
というか、むしろ強制退去を命じます

「なんでやねん。俺はトヨに用事があんの」

「知らんし、てかマジ帰れ」

「・・・と言うわけでかくかくしかじか地デジ化」

「いやおもんないし」

昼休み

「けいおんの映画12月3日らしいな」

「マジで?」

歯科検診があるため、あらかじめ配られた歯ブラシで歯を磨いていると、YUIとけいおん!が好きな友達で、気が合った伊藤がいたため、話しかけると

「たしか3日って創立記念日で学校休みじゃないん?」

「ホンマや！よっしゃ来たあ。一緒に行こうぜ」

「じゃあどこにする？俺ん家からやったら深川の方が近いけど三北の方がいいか？」

「いや、俺はどっちでもいいけど」

「まあ、まだ先やから今度決めよか」

<<i>i n 教室

「で、またなんでおるん？」

「仕方ないって友達いないねんって」

相変わらずトヨはえげつないことをずけずけと言ってきました。
コレがトヨなんですけどね

「小出水が要らんこと言うからこんなこと言われたやんけ」

「あゝあゝ？俺が悪いんかよ」

シュバツ

と言う擬音が似合うほど高速で離脱する変態

「殴りたかったら捕まえてみる」

如何にも

と言う感じの雑魚のセリフを吐く変態

「いや、俺殴りたいとは言っていないけど・・・殴ってもいいなら殴るで?」

まあ、殴ると多分謹慎4日は食らうからな。そんなことなったら推薦もらえんくなるし

だから

殴らないんだけどね(= = ;)

俺はいつでも全力全壊
(後書き)

ぽぶら

イラ友的な？

けいおん好き

色々と残念な子

帰宅部

伊藤

YUI、けいおん、堀北真希好き

卓球部

軽くM

とよ

自称・色々と残念な子

科学部

少し変わった口調

ネラー？かも

明日から本気出す！

「テスト前の通常授業ほど面倒なもんじゃないよなあ」

「同感、てか俺昨日は休みのつもりで居ったから宿題やってないし」

オイ、倉田よ

結構前もそんなことなかったっけ？

いい加減に勉強しろよ(= = ;)

「結局警報出たの、夜の8時ぐらいやもんなあ」

「出てたんや」

「らしいで。まあ俺は巨人vs横浜見てたから知らんかったけど。やっぱ今年は横浜やな」

毎年応援する球団が変わる俺
ちなみに去年はヤクルトスワローズでした

「てか、英読の宿題やらなあかんしなあ。明日のテストって、英作と現国やる？マジだるいわあ」

「どうせ小出水は勉強せエへんねやる？」

「まさかあ、高校はじめてのテストやで？ちよつとは頑張るっての」

「それでもちよつとやねんな」

今まで真面目にテスト勉強などしたこともなく、中学受験もなんとなくで乗り切ってしまった、高校進学もこれまたなんとなく通過。運がいいんだか悪いんだかそんなことを考えながら英語の教材を引っ張り出すと

「めんどいから学校でやる」

「何時間目なん？」

「5時間目だから問題ない。そういや今日のLHRって心理テストやる？何するんかなあ」

心理テスト終了後

「何あの棒人間？」

「小出水が描いたらもつと面白いのに」

「ぼぶら・・・お前は心理テストに何を求めている？」

「・・・笑いかなあWWW昨日描いたあのやわらか戦車サイコーヤん」

> i 2 4 0 7 9 — 1 5 0 3 <

「ああ・・・アレか。あれであの絵をどうしろと？」

心理テストに出てきた問題

記憶が曖昧なのでテキストです

この絵を見てあなたはどのような反応をしていると思いますか

絵はありません

すいません

1 お姉ちゃんが頼まれたんだっいたら自分で行きやがれ

2 ヤだし

3 今いいところだから後で

<<1

姉ちゃんだと・・・

どう考えてもチエ・ホンマンじゃねーか

<<2

まあ、妥当な反応だろうな

<<3

行くんかい!!。(。口。ノ)ノ

で・・・

恐らく俺がとる反応は

「死ね」

だろうな

てか

お使いなんて

頼まれんし（。・・・）ノ

この他にもいくつかありました
が

覚えてねーし

てか・・・

心理テストとか

アホらしいから

バツくれたかったー・・。（シユタタタタ

ところで

明日からテストな訳だが・・・

「小出水はどうせ勉強せエへんねんからカンケーないよな」

倉田君

聞き捨てならないセリフですな

俺だって

本気出すさ

明日から

明日からなら

頑張れる b y t t o

「ってわけで、明日から本気出すZ O」

「死亡フラグ立ちまくってるなあ」

アレ？

倉田って

こんなやつやったっけ？

まあ

俺のせいなんだけどね) = = (;

わあ放射能の臭いがする W W (前書き)

黄砂が降り注いでますね W W

わあ放射能の臭いがするww

本日からテスト

土曜日だけどwwテンション駄々サガリ やけど

普段よりはよ帰れるし

「。(。こノオ)。(ノハ)。(ノシヨツ！
！！」

「どうした？やけにテンション高いな」

倉田が若干ヒいているが気にしない。

テスト初日、クスリを飲み忘れ、おっとこれだと誤解を生んでしま
うな

薬を飲み忘れて……

花粉症なんだ

俺

てな訳で……

フラア

バタン

「なんで倒れんねん」

倉田あ……ツッコミが成っちゃいないよ、ツッコミが

君が幾ら名古屋出身だからってねえ、郷に入っては郷に従え
関西には関西のツッコミがあるんや

「名古屋じゃないし」

どうやら一昨日の健康診断の日に、献血をしたのだが・・・

元々低血圧で、貧血症な俺にとっては200mlでさえきついようだ

今って

200mlと400mlらしいね

昔は800もなかったけ?とか思ったり

献血しようって思ったのは別に俺が善人だからってわけじゃない

何となく

そう、何となくだ

多分

減るもんじゃないし

って感じかな

いや

減ってるじゃんとか言つツッコミは受け付けませぬぞ!!

初日の教科は

英作（英文法）と現国（現代国語）だ。

なぜ・・・何故なんだ!!

我は語学と言うものが嫌いなのだよ

つーわけで

小出水出撃する)・・・(ゞ!

まあ
終ったわけなんだけど
意外と簡単じゃね？

英語は記号選択問題多かつたし、現国は60分拡大版の割に量少ないしな。正確には俺が読むの速いからなんだけどね
速読は特技の一つなんです

とは言っても人よりちよつと早いぐらいなんだけど……。それで
も一応文庫本なら1時間から1時間半もあれば読み終わるなあ
まあ、アンブロークンアローは5時間かかったけどね(〃〃；)

そんなわけで……

帰ろう!!

K電車でケータイいじりながら(もちろんガラケーだよ。+))
*、(。+) 歩行者で音楽を聴いて制服のシャツの裾を出す
だって

シャツ何か短いし
まあMサイズだからね

てか眠いし……

ついわけで寝る!!「オヤスミなのだ(。)。!!」

で、、寝たはいいんだけど……「コゴゴ」って、寝過ぎした

ああああああ(。)。!!

うわあ、やっちったあ。終点だし

まあええか

土曜やしな・・・遅なってもオカン仕事やし
No ぷるぶれえむ！

で・・・

コイツらなに（＝ ＝？）

うるさいんだけど

てか

バカのくせにバカ騒ぎすんなよ

ウゼエ

まあ、重たい体を起こしながら静かに

「うるせえんだよ・・・」

バカな高校生？と思しき集団5名

シーン

アレ？

なんで？

この車両静まりかえったWWW

コイツら・・・中学生なの？

つかビビリすぎだろ

幾らドス利かせた声で言っただって言ってもなあ・・・たかが高校生
1人なのにな。チキンにもほどがあるぞ。ストレス溜まってるから

こーゆーところで溜めたくないだけなのに

机に向かえば、自然と集中できるのだが……
机に向かいたくない

で

特にテストでイベントはなかったのでスルー

「テストどうやった？」

成績が似たり寄ったりの倉田に質問を投げかけて見ると
OCが好成績だったとMr・Iが言っただとの返答が

リスニングは俺もまだ得意な方なのですが……
やっぱり中2の時に比べて格段に難しくなっているから不安は残る

「テスト終わってすぐ球技大会とか羨えるわ」

「倉田は卓球やつけ？」

今回の球技大会で行う競技はバスケット、フットバレー、アルティメット、サッカー、卓球
本来ならばバスケットに入りたいが、あまり出しやばるのも気が引ける
ので余りのどこかに入ることになっている。

金曜日5時間目

Mr. Iの授業

OCのテストが返却され・・・

「最高得点は82点満点中82点で、中間成績の最高点は100点だ」

と、

マジかよ（。。。）

今回は全部が実力問題やってゆーとったんちゃうん？

そいでもって満点って・・・

もしや帰国子女のレイちゃん？

「じゃあ返すぞ〜」

おいMr. I

心の準備ができたらんぜお

俺の点数は・・・

「小出水は耳だけはいいみたいだな」

耳だけは、って・・・

まあ、弁解の余地はないんだけどね（＝　＝　；）

わあいゝ（＾　＾）／＊

54 / 82点! !

平均が47点だから

俺出来るじゃん

で、授業終了間際のMr・Iの一言で俺の闘志に火が付きましたよ

「次は球技大会だけど、皆頑張れよ。まあ勝つのは2組だけだなハハハハ」

ブツン

やってやるーじゃねーか!!

幸いにもMr・Iがし切るのは俺が参加するサッカー

2組の担任だからといって、そーゆーことを言うのは

死亡フラグですわよ

誰得？ なんといい俺得！！（後書き）

Mr.I

英語教師

帰国子女らしい

俺のいる学校、帰国子女多いんだよね

レイちゃん／篠原レイ

女子かって？

男子校だから男に決まってるでしょうが

アメリカからの帰国子女

音楽部で

トランペット

ヴァイオリンも弾ける

黄金の左脚！

さあ

金曜日の6時間目は球技大会だ

マジ誰得なんだよ

サッカーとかやる気でねーとか思っていた矢先、俺の闘志に火をつけたのは、2組の担任であった

ケド、目立つのはヤなのでDFに徹することは言うまでもない

テニスの経験があるため、それで培った瞬発力と持久力、そして反射神経には自信がある
かもしれない

「殺つてやるです！！」

「小出水、何かその発音にはウラがある気がする」

同じくサッカーに参加するテルからのツッコミ

確かに、本来ならば「闘つてやる」が妥当なところだが、脚を掛けるもしくは脚を蹴ることでサッカー部からもボールを奪ってしまうという

もちろんいいわけは

「シロートだから仕方がない」

無茶苦茶であるwww

で……

ポジションどーすんのさ

取りあえず、サッカー部2人はFWでしょ？

コート狭いからMFはいらんし

GKはマゾがないなら保留で……

FWもう1人入れようか

「で、俺がキーパーな訳ですね」

まあ、楽だからいいんだけどさ

頼むからシュート打たせんなよお・・・

てか試合時間6分て・・・みじかつ！！

1回戦

2-0

勝利！！

まあ俺はなんもしてないんだけどねww

だって相手はシュート1発撃ってこないんだもん

やっぱサッカー部が多いと安定感が違うなあ

俺はなんもしなくていいしwww

それが大きい

努力？何それ

下らないよー

実に下らない

で

ええ

キーパーやっちゃうのぉ。サッカー部なのに

あーヤダヤダ。わざわざ前に出てボール蹴るとかめんどくさいし、俺なんて戦力外だし
てか、弱いのと上手いので2チームに分けたはずなのになんで強い方に俺がいるん・・・ああ、弱い方に人員が割かれまくってるのかwww

つまり

6人ずつだが、弱い人が6人以上いれば自然と強いはずの方にも弱い奴が入るワケだ
なるほど

おれは人数合わせか

アハハハハハハハハハハ

ジョートーじゃねーかwww

うおおおお

同点になったらどうすんのさ
って

じゃんけんとか・・・こんなんでいいのかよ

勝ったあゝ

まあ俺関係ないけど

え？

次で決勝なの？

こつなったら狙うはもちろん優勝！！

とか熱血しないよおだ

まあ負けんのやだし

勝つつもりでは居るけどさ

「っわけでなんだかんであって、相手のサッカー部のやつが蹴つてボールを盗つて、味方のサッカー部にボール渡して

1 - 1

またじゃんけんで

勝ってくれました

本当にありがとうございます

後日談

サッカー部のO君から

「小出水ってサッカー上手いな」

「え？なんで？」

「だって普通にK（俺が足を蹴ったやつです）からボールとったやん。2回も」

「ああ、蹴っただけやし」

「しむせしむ」

「うるせー。下手なりに頑張っただよ」

お茶 + アクエリ = 無味

5月26日

昼休み

「何コレ、甘みと苦みが見事に打ち消しあつとる」

横から突如として聞こえたグルメリポート（笑）

何事かと思い、右を向いてみると（席替えしましたよ）レンきゅんとナベアツがなにやら水稻のコップで妙な液体を飲んでいます。

「何しとんねん」

「いや、アクエリとお茶混ぜたらすんごいことなった。小出水も飲んでみ」

「断固拒否」

飲むわけねーだろバーカと罵声を浴びせたくなつたが、そこは堪えて

「鈴木は結構何でも挑戦してくれんで」

と、レンきゅんのさらに右隣りの人にあやしい液体を飲ませることを提案

普通に飲んでくれました

「え？何これ、水？」

どうやら味の大量虐殺ホロコーストが行われたようです。

でも色はれっきとしたウーロン茶

見事としか言いようがありません

そんなことを思いながら、弁当の餃子を口に運んでいると……

(。 。) ー！

「ぎょうざのタレあるけどどうするっ」

「やめいー！」

ナベアツよ……

そこはぎりぎりまで挑戦するのが漢おとこつてもんなんだぜ？

やるうじやないか

やってやるうじやないかWWW

「よしやんぞー！まずコップに『お茶』を適量加えます。つぎにこちらのスポーツドリンクを目分量でテキトーに加えます。更に余ったぎょうざのタレをTAKE IN！(英語適当です)これでなんか奇妙な液体の完成です。それでは鈴木さんに試飲してもらいましょう」

「っーわけでよろしく」

「何か油浮いてるし」

「そりゃそつだ。何せぎょうざのタレだかな」

臆することなく鈴木さんが一口

「はじめいけるかと思ったケド後味が最悪な感じ・・・かな？」

冷静なコメントありがとうございます

「で、残ったこれどうするん」

「俺は嫌やで」

レンきゅんが速攻で拒否ってきました
もちろんナベアツも

「むり、お前が作ったんだからお前が何とかしろ」

「じゃあ水筒に入れるか」

「もちろんお前（俺、小出水）のやんな」

「まさかあ」

と言いつつトヨの水筒をさりげなく獲ると

「はい」

「マジで入れんで？」

完全に俺のものだと勘違いして、ナベアツが水筒の中へイッキ！！

「取りあえずふっところか」

そして例の液体が入った水筒をトヨの机に戻してMISSION

COMPLETE!!

「ウエツ、何か変な味する！」

「ザマーミロ。糞マズドリンクを混ぜたからな」

「え？お前のじゃなかつたん？」

「当たり前じゃん。これでお前も味のPioneerやな。ところでトヨ、入れたんコイツやから） - -（；`／）。°。（；こいつが迷惑おかけしました!!」

「つーわけで俺は悪くないんだ」

「どーしてくれんねん」

「さあ、どうもしないだろうっね」

味の大虐殺わ翌日も行われ、今度は俺の後ろのNEETSが被害を受けました。

お茶 + アクエリ = 無味 (後書き)

鈴木

音楽部

めっちゃ頭良い

あと真面目

俺とタコ (多分いつか登場します) が中2の時に変な知識を叩き込んだせい (?) でちよっと性格が曲がった

レンきゅん

しよたキャラでもなんでもありませんww

美術部

いまいちどんなやつか分かりません

ナベアツ

髪の毛がもっさりしてます

故にナベアツww

美術部

今の学校入ってはじめてできた友達

それ以外は塾の時から友達だからねえ

理由としては出席番号が俺のすぐ後ろだったからなんだけど

NETS

中2の時に酷いイジリ (イジメじゃありませんよ) にあって学校を休みがちになった (らしい)

それが原因であだ名は糞ニート (ヒデえwwww)

テニス部 (幽霊部員)

青春ってこんなに泥臭い？（前書き）

更新できなくてすみません

今回から何回か体育祭篇が続くと思います

その体育祭の練習があつたためにPCに中々触れませんでした

青春ってこんなに泥臭い？

6月4日

「おっす小出水」

「ああ、ぼぶらか。アレ持ってきた？」

「モツチロン　ここで渡す？」

教室の真ん前

俺がロッカーから運動靴を取り出していると、後ろから声を掛けられた。

革靴になった分、靴を履き替えるという手間が省けたが、それ以上に体育祭なるもので、汚れた靴での登下校が免れたことの方が大きい。

また、制カバンはデザインが非常にダサいたため（後大きい）中学生と間違えられてしまうことがある。

身長もそれなりに伸びたので、俺の場合そんなことはないけど・・・
革靴を履けるのは高校から

中高一貫校であるため、背が高い中3にはナメられることもある。
先輩としての威厳を保つため。と言う点でもこの革靴は一役買っている。

取りあえず、ぼぶらから借りる予定だったアレとは
漫画、かわぐちかいじの沈黙の艦隊である。

教室の前で漫画を出すとは何とも大胆であるが、貸し借りだけなら別にいいとちいちゃんも言っているので、問題はない（多分・・・）

)

「当然。カバン中ブチ込んどいて」

「りょうか〜い」

教室に入ると、無気力系のメンツ（トヨだけどwww）が顔を合わせ

せて
「体育祭とか誰得〜」

とか言っているが

体育祭当日

男なら多少、気が立っているものである。

俺は先輩共の自己満足につきあうつもりはないし、前日作業と言っ
名の強制労働にもウンザリしている。しかし、朝の電車の中のおっ
さん。デブで暑苦しいんだよ！！向こうに詰めるやボケエ！！
と、イライラしていたため

プログラム1番

棒引き

参加学年

中3

高1

決まり

大量虐殺決定www
ジェノサイド

これを一般的に八つ当たりと言います

さあ戦争の始まりだ！！
バレード

「何か・・・テンション上がってきちゃった」

「なんか目がヤベエ」

トヨ・・・それはないだろwww
あながち間違いじゃないけどさ

ダルいHR朝礼や開会式。それが終わるとすぐさま棒引きが始まる
棒引きとは知ってる人もいると思いますが、直径10cmぐらいの
丸太を引き合い、そして自分達の陣地に持っていく競技です。

実に単純

速度、チームワーク、そして力

この3つが問われ、全てが勝ってこそ勝てると言っても過言ではな
いかもしれません

入場して、1回戦は1、2組のみ

「一回戦ヨーイ」

パン

乾いたピストル音と共に、陸上部最速、県大会ベスト8のザキがダ
ツシュ。

一人で持って帰ってきました

「ザキ速え・・・」

他のメンバーも負けてません
棒引きにもかかわらず、頑張っ
て引張っている中3の後ろから押
していきます。それもガンガン、
ガンガン

結果、10本のうち9本が高1、
中3は1本のみ・・・
ヒデえ

卑怯？そんなの負け犬のセリフだろ

「2回戦ヨーイ」

パン

こちらには短距離で速い人はいない
ならば……

数で押せばいいだけのことさ

ど真ん中、文化系のやつらが多い中どうやっても力じゃ勝てません
だが

この棒はもう俺のモンだ！

中空に浮いた棒を掴んでジャンプ&両足蹴り

「死ぬ」とぼやきながら……

もちろん反則です

でも気にしなーい

俺の疑似ドロップキック

3人を引き剥がし、その後もよって来る連中に2回のドロップキックをお見舞いし、もう大丈夫かなと思ったところで別の棒に移ります

「ドケ、ゴルアアアアアア」

え？

まさかの威嚇？

それヒドくね？

とか、どこからかの罵声に突っ込んでると、獲られそうな棒が一本
久しぶりに人を蹴って、テンションが
しかも裸足、上半身も裸

直に皮膚の感触が伝わってくるためこれ以上興奮することはない

「さあこっからはワンサイドゲーム一方的展開だぜ！」

的なことを心の中で叫びながら

今度は回し蹴りに近い軌道からの前蹴り

これだと動きがコンパクトで先生らにも見づかりにくい

「はい退けよドカス共々。邪魔だっって言ってるんだろコラ」

変なイントネーションで再び引き剥がそうとすると、さっき蹴った
はずのやつが俺の脇腹を殴ってこようとしてますが……
後ろから他の高1がドーン・・・(三)・・・(。)。。

はい残念賞

帰ってママのおっぱいでもしゃぶってるww

そんでもって一人の中3を引き剥がそうとすると、誰かの脚に躓い
て……

アレ？

視界がおかしいよ？

コケんのヤダな

そのまま掴んでいる中3をポニー

下敷きにしました

不可抗力だよな

仕方ないさ

こちらもあるこれしてるうちに、8本もGETしてました

初戦終わって点数

白組、170点

紅組、30点

本来ならば、負けた側は奮起して次の競技で死にも狂いになるはずなのですが……

むしろ意気消沈

皆が卑怯だと言おうが俺には関係ない

勝てば官軍負ければ賊軍

それが俺のポリシー

負けるのは問題外。話はそれから

「白組最強!!」

「「「「「YeaaaahhhhhhHHH!!!!」」」」

「紅組が何ぼのもんじゃい!!」

「ウオおおおおおおおおおおおお!!」

スンゲー盛り上がりましたよ

これ以上ないほどに

共学だったらこんなことになんないんだろっなあ

とか思ったり

それにしても・・・

ヤベエ快感。+。(＊、)。+

喧嘩なんてしたのは小2以来全くなし。人を蹴るのもツツコミの延長程度

ましてや本気でとなれば、負傷者が出ることは分かっているから、どこか理性で止めるんだよね。

けど

自分にブレーキをかけるどころか、肺やら圧迫されて半分酸欠状態
理性が働かないため取りあえず暴れましたよ

完全にラリってる上、精神異常者と思われるもおかしくないような
振る舞い

残念だったなガキども

勝てばいいんだよ勝てばWWW

防衛戦×電撃戦

次に出る競技は

棒倒し

中3以上が出場する午前のメイン

高1と高3 vs 中3と高2

ルールは

棒のてっぺんの旗を取れば勝ち

殴る・蹴るなどの暴行は禁止。あくまでもタツクルのみ

とは言っても、毎年の殴る人も蹴る人もいるんですけどね(〓 〓 ;

)

1回戦が始まるが、見ている限りでは高2が少ない。攻撃の中核を担うのは中3と見て間違いはないだろう。互いの棒が向かい合っている正面側に防御を集中させているため後ろに回り込まれると厄介だが、所詮は棒引きでフルボッコにした中3。何も怖くはない。

目の前に中3がいるが中々かかってこない……

チッ

めんどくせエなあ

「おいコラ、ビビってんのか？掛かってこいやあ!!」

あんまり言いすぎると舌を切るののでなるべく言葉を選んでいるが・
・
それでもかかってこない

「それともチビって動けないんですかあ？ガタガタ震えてんのがコ
ツチまで聞こえてくるよお！！」

もう言いたい放題

そろそろ来るかなと思ったら
やっぱり来た

来た瞬間に脚を前に出して

ドーン

俺蹴ってないもん

なんやかんやでそのまま持久戦の末、互いに決定打が出ずに終了。

2〜3分のインターバルの後2回戦が始まる。

紅組の連中が棒の周りを囲っているのを見る限りでは、1回戦とは
異なり攻撃側に人数を割いているようにも見える。大体10人ほど
増やしているのだろう。

対して白組の戦法は、攻撃側はそのままにして防御の人員を引き
がしに移す。

引き？がしは相手の攻撃、つまりタックルしてきた人を棒の周りを
囲っている人から？がすことが主な役割だが……

タックルする前に脚を掛ければいいじゃん)。。()! !
まあ反則なんですけどね。

すると

ドテッ

コケたよwww
先輩ザマア

攻撃側の人数が多いが、引き？がし役が良い緩衝材になっているのか全くこちらの棒は倒れる様子はない。

すると何度も俺の居る前でタックルしている中3が・・・

腕をがっしり掴んで羽交い締め。

もちろんそのまま後ろに投げる。

タックルかます

その前に捕まえて後ろに投げる

「なんやねん何度も何度も！」

あゝあゝ？

テメえから突っ込んで来てんだろ

それに引き剥がすのが仕事なんだよ

「なんやねんその口の利き方はよあ!!先輩のことナメとんかボケ
ゴルア!!！」

そのまま上体を捻って脇を締め、ボディブロー

肩をがっしり掴んでいるため吹っ飛んだり逃げたりはできませんw

w w

すると先生が

「そこで喧嘩するな」

止めに入ってきました

しかし、止められたのは中3の糞ガキの方

ザマアw w w

その後モルールをガン無視して、殴る蹴ると殺りたい放題！

テンションが上がりまくってます

ちょっと疲れてきたなあとか思って、紅組の旗がどうなっているか
見ていると……

ザキが人の踏み台にジャンプ！

そのまま

旗を獲って終了

勝ったー！！わあい、（^ ^）/*

落書き多め 文章短っ！

昼飯の時間です

アイス売ってるけど

こんでるから買いに行く気が起きん……

てか俺マンガ読むのに忙しいし

結局

3巻も読み終わりました

俺の通ってる学校

体育祭は競技だけじゃないんです

日体大の団体行動はご存知でしょうか？

あれには遠く及びませんが、色々な形を校庭に描き出す行進なども
あります。

まあ

学校が割れる恐れがあるので何て競技名か書かないんですけど……

もしやここでは？

と思っても

感想欄に描かないでくださいね

メッセージなら受け取りますよ

まあ返答するかどうかは分かりませんが
バレルの怖いし……

まあ次の競技はエンターテイメントの塊

クラブの宣伝を兼ねたりレーなのです

陸上部とかマジやめて

って感じの競技なんすけどねwww

バド部のある人SWATのコスプレしてR-18であるはずの機関銃のモデルガンもttt(ry
だからバレルの怖い

美術部もやらかしてくれるし

帰宅部は……

ちよwwwそっちゴール違^{ちや}う

校門から出て行きました
やっぱりやってくれます

レイちゃんも

TRP吹こうとしますが……
走って息が上手くできません。全然出てません

剣道部は

高1で一番強い奴が

卓球部と弓道部に

面と胴を決め

去って行きましたとき

次は騎馬戦でも書こうと思いますが

遅くなるかもです

今回めっちゃ短いんで

落書きをあげますよ

>	i	2	5	4	1	4	>	i	5	0	3	<
>	i	2	5	6	1	1	>	i	5	0	3	<
>	i	2	5	6	1	2	>	i	5	0	3	<
>	i	2	5	6	1	2	>	i	5	0	3	<

そーゆー小細工マジいらね

やっぱり体育祭の花形と言えば騎馬戦ですよ〜

僕等の学校中高一貫ってことは初めの方に書いたけど、騎馬戦は全学年が出場するという下の学年を無双するためにあるような競技です

ちなみに現在の点差は0

大将戦×2でそれぞれ80点

一騎討ち×1で100点

もちろん大将戦2回獲るやろ

皆さんめっちゃテンション上がってますが、僕等の目的は大将を護ること。無双するつもりはありません

無双するなら僕が上乗るし。もちろん殴るからね オイ

上のやつの体重50kg未満ってやる気ないどころの問題じゃないし
ちなみに僕はペンペンと一緒に後ろやねん

前はテルと先生（あだ名ですよ）

もちろん後ろから蹴りまくりますよwww

目標は中3、中2のみ高2相手とか無理やし

「んじゃあ大将の近く行くこつぜ〜」

つーわけで大将の近くに移動

一回戦始まって、前半は傍観しますよ
てか

散発で出してくるとか

弱っ！

コイツらやる気あんのかよ

突っ込んでくんのやっぱ中3、中2やしな

勝ちたい気持ち先ばしんのは分かるが……

そんなんじゃ勝てねーよwww

だって

中1の相手してる間に高1が獲りに行くからな

まあ僕等は傍観するだけやけど

で

あっちゅーまに終わってもーた

弱過ぎるって

もっかい言つてええかな？

やる気あんのか？

倒したの3基だけやけど

まあええか

十分やる

見る限りじゃ

こっちほとんど取られてないし

あと一回勝ちやあ終わりやしな

「手え疲れたから左右変わる？」

「そうしよか。僕も左手痛い」

つーわけでサイドチェンジ
意味あるかは不明

2回戦

コレ結構長かってん

はじめ睨みあいであってさあ

役員共が

「時間押してるからはよして」

やって

迂闊に突っ込んだら負けるっちゅーねん

せやから

出ると見せかけてでないように・・・

その繰り返し

バド部のSWAT君らと一緒に

出ては戻っての繰り返し

キタ

掛かったな

見事に中3君が突っ込んできました

相手にしないんやけどな

中1君らが寄つてたかって
獲られてるやん(〃 〃 ;)

こっちも負けてられんねんけど
それやったら俺ら倒されるし

今度は一斉攻撃ですか

向こうはとことん先手を取るつもりですな
こっちにも来たし……

「どーする？戦つか？」

「ええで」

テルの返事

よし

殺りましょうwww

で、組合つてるところに言つて後ろからとるつとすると

何やねんコイツら

ゴム首に掛けるとか汚え

ああもういいよ

蹴つてやるよ

と後ろから

前げりは無理なんで回し蹴りで

騎馬つて組むと

前後からは強いけど横つて弱いんだよねえ

バランス崩したのと上の方のおかげで

ズデーん

転びました

蹴ったのは

バレてねえな？

次の騎馬も次の騎馬も

ゴム掛けてやがる
マジせこいわ

何やねんコイツら

俺らも首にゴム掛けてる奴ら相手にもたもたしてたら

やられました

ムカついたんで

上のやつ下ろしてから向ここの連中の背中蹴ったりました

1基つぶれたしwww

ザマア見ろ

結局勝つたんやけどさ

胸糞悪イ

一騎打ちの前に友達とイヤミを言ってやりました

「そんなことまでして勝ちたいんかよ」

「いやいや、負けとるで」

「そーか、そーかゴッメイン 負けたんだったねwww」

悔しがっても勝つたのこっちやし

ろんどん!

しょうせつ12月12日

「テスト終わったー!!」

期末テストは無事終了。因みに最後の教科はとある大先生の数1でした。

先生の必殺技と言えばあれです。出席簿アタック

ISのちーちゃんと同じで俺の通ってる学校のちいちゃんも出席簿アタックをかますのですが・・・
そんなことは置いといて

「いーとーおーー!!!!」

「何?」

「明日何時にどこで集合?」

けいおんの映画を一緒に見に行こうと言っていた伊藤(全力全開参照)と待ち合わせの時間を決めていると

「なんかデートみたいだな」

「いや、え?え?小出水ってそっちなん?」

「なんでやねん。ジョークに決まってるやろ。ナベアツ曰く俺はクラブ・ブルースカイのアンダージョーカーらしいからな」

クラブ・ブルースカイ

俺とナベアツ、後レンきゅんにしか通じない言葉
青空クラブ・所謂帰宅部

アンダージョーカー

察していただきたいのですが、下ネタ野郎です
はじめて受けた模試の時にテンションが終わっててこんなことにな
ったのですよ

俺「ちゃんと突っ込めよ！ボケた俺が惨めやないか」

ナベ「そのボケにどう突っ込めと!？」

俺「え？普通に何を何の中にこう・・・」

ナベ「お前そんなキャラやったっけ？」

俺「さあ？」

故にアンダージョーカー

「まあそんなことは置いといて。深川の東口に9時でええよな？」

「ん、まあええけど。大丈夫なん、席が満席ってこともあるやろ、
あそこ小さいから」

「まあその時は次の時間のやつ取ればええやん。詳しい時間はここ
に連絡して」

伊藤に番号を渡す。

「お前ケータイ持ってへんよな？」

「まあ、でも今日買ってもらえるかもしれへん。期末おわったらっ
て親がいったから」

つーか前置き長えー！！てわけで

12月13日<<in深川

「オっす」

「9時40分からやる？さっそく行くぞ」

深川の通りをハイテンションで歩き、映画館へ！

現在の時刻9時15分

「けいおん二人」

「学生証はお持ちでしょうか？」

「……………。がくせいしよう……………忘れた……………！」

ギギギギギと言う錆びついた機械が動くような効果音がぴったりの動きで、後ろに立っている伊藤の顔を見る俺。変な汗が出てきます

「なければ定期券などはお持ちでないでしょうか」

「あ あります」

救われました。高校生と一般の金額の差は500円。自分の所持金は11001円。結構でかいんだよねあ500円は

「席は前の方か後ろの方どちらになさいますか」

「後ろ。てかどこらへん空いてるんですか」

まあ事務的な質問もおもろくないんで次行きます
とった席は後ろから5列目ぐらいです。ポップコーンはいらんやろ
と思い、ドリンクだけ

映画鑑賞後……

「(ぽーーーーー)」

「何か……アレやな」

「うん」

軽く放心状態の二人。

「てか便所いつてくる」

「おれも」

「前半憂の声おかしなかった？」

「え？どこが」

「何が地声が混じってるて感じやったねんけど」

「そんなん気にせんかったわ」

「それより、EDでTom・H@ckって出たとき吹き出しかけた」

「誰なん？」

「あいなまさんと付き合ってるらしい人」

「へ〜」

オタとーくしながら駅前に戻る二人。昼飯何にしようとか言っ
て駄弁ってたら、

「どんだけ歩くねん！」

「近くにサイゼない？」

「あっち」

来た方向を戻り、ビルの2階がサイゼリアの筈……

「何か階段長ない？」

「そう思う2階じゃないやん」

何故か通常であれば4階にまで達する高さの階段を上るはめになり……

「やばい。体力が尽きた……」

フラフラと店員さんに案内されて席につく

「それにしても、天使にふれたよが名曲すぎるわ。アニメでちゃんと聞いてなかったから」

「そうなんや。俺はU&Iの方が好きかも」

「ああ、あの鳩山ソングか」

「え？」

「友（U）愛（I）やろ」

「全然違うけど、まあそうやな」

そんな話を続けるつもりだったのですが、隣の席に若干ちゃらい感じの大学生？二人……

続けられるかあ！！

仕方ないのでドリンクバーでは恒例の

「それではカオスドリンク作成教室はつじまってるよあゝ」

つてことで、手始めに

グラスに3割ほどコーラを注ぎます。

次にメロンソーダとキリンレモンをそれぞれ1：1の割合でグラスの6割程度のところまで注ぎます。

更にカルピスをグラスの9割の位置まで注ぎ

完成！！

「ヨーシどつちが飲むかじゃんけんな。拒否権はあるけど拒否った場合はここの代金全部支払うこと。飲みきれなかった場合も同様です！」

諸葛孔明現るwww。初めからそのつもりでした。

ケド俺……じゃんけん弱いじゃん

意味ねえー！！

やはり・・・負けました

「ほら小出水はよ飲めよWWW」

そのドヤ顔が腹立つんさあ

「ンググググググ・・・。南無三！」

すごい味です。でも清涼飲料水コンボはまだ飲める方なんです。けど次に待ち構えていたのはコーヒーと紅茶ブレンド。入れたの俺だけどね

「今度こそ勝つぜい！！！」

といいつつ、けいおん！！の4話あたり

つまり部室掃除の回でさわちゃんのSGを売りに行く時の唯のように例のおまじないをします

「ああつ、俺も！」

伊藤が俺の行動を羨ましそうにしたのち真似し始めます

「おいパクんなよ！」

「ええやん、ええやん」

「そこは」まあまあまあまあまあ「て言って」六回！？「って言うのやる」

「何それ？」

「別にいい」

今度は

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
勝ちました！！

「はいどーぞ」

謎の caosドリンクを伊藤に満面の笑みで渡す俺

結局全部飲み干せなかったのですが、代金は俺の方が多く支払うはめに…

持ち合わせがちょうどいい感じだったので

ちなみに最後はミルクティーを飲みましたよ

昔から好きなんで

確か小5ぐらいから

ろんどん！（後書き）

アマネは海外旅行行くならイタリアのヴェネツィアかオーストラリアのグレートバリアリーフに行きたいのですよ
イギリスにも行きたいですけどね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0151t/>

夢と希望と落書きと

2011年12月21日09時46分発行